

豊田PCB廃棄物処理施設のご案内



中間貯蔵・環境安全事業株式会社
Japan Environmental Storage & Safety Corporation

豊田PCB処理事業所は PCB廃棄物の安全・確実な処理に全力で取り組んでまいります

当社(JESCO)は、国民の皆様が安心して暮らせる環境を保全することを目的として、国の監督のもとPCB廃棄物の処理を行うため、旧環境事業団のPCB廃棄物処理事業等を継承して、平成16年4月1日に100%政府出資により「日本環境安全事業株式会社」が設立されました。その後、当社の根拠法改正により、平成26年12月24日に「中間貯蔵・環境安全事業株式会社」に社名を変更しました。

同法改正により、国が福島県で行う、放射性物質に汚染された除去土壌等を安全に集中的に保管するために不可欠な中間貯蔵施設の整備と管理運営について、国等の委託を受けて中間貯蔵に係る事業を行うこととなりました。

しかし、豊田PCB処理事業所においては、今回の法改正後も変わることなく、従前より実施しているPCB廃棄物処理事業のみを行い、引き続き安全を第一にPCBの処理を推進し、できるだけ早期にPCB処理を完了すべく今後とも全力で取り組んでまいります。

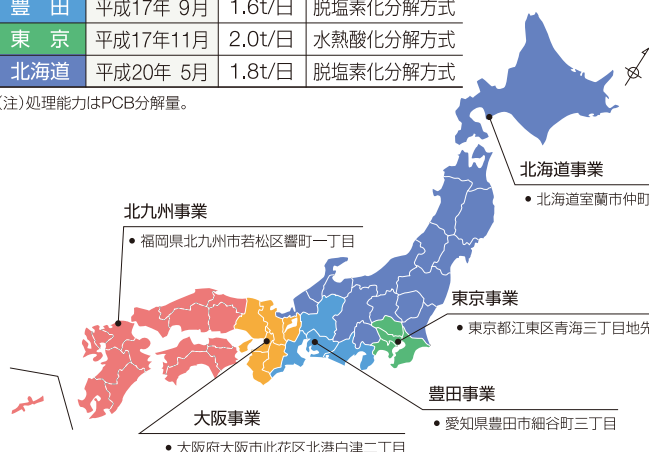
PCB廃棄物処理事業の概要

国が定めた「PCB廃棄物処理基本計画」に基づき、安全・確実な処理を行っています

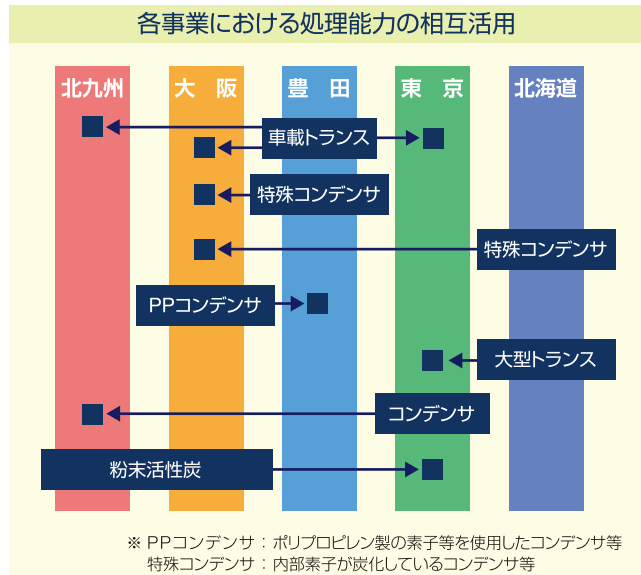
トランス類・コンデンサ類等の処理

処理対象区域	操業開始	処理能力(t/日) ^(注)	PCB分解処理方式
北九州	平成16年12月	1.5t/日	脱塩素化分解方式
大阪	平成18年10月	2.0t/日	脱塩素化分解方式
豊田	平成17年9月	1.6t/日	脱塩素化分解方式
東京	平成17年11月	2.0t/日	水熱酸化分解方式
北海道	平成20年5月	1.8t/日	脱塩素化分解方式

(注)処理能力はPCB分解量。



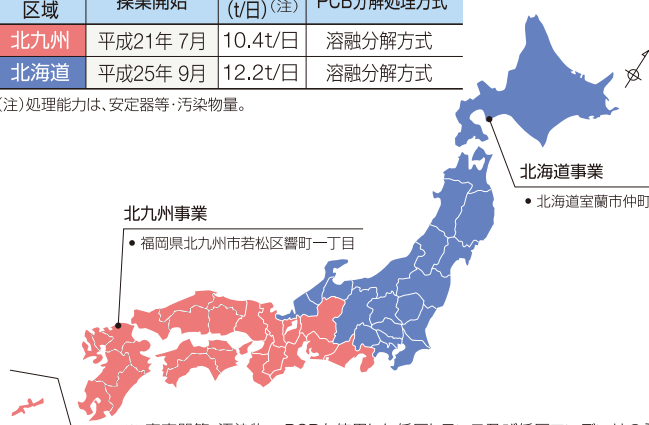
各事業における処理能力の相互活用



安定器等・汚染物の処理

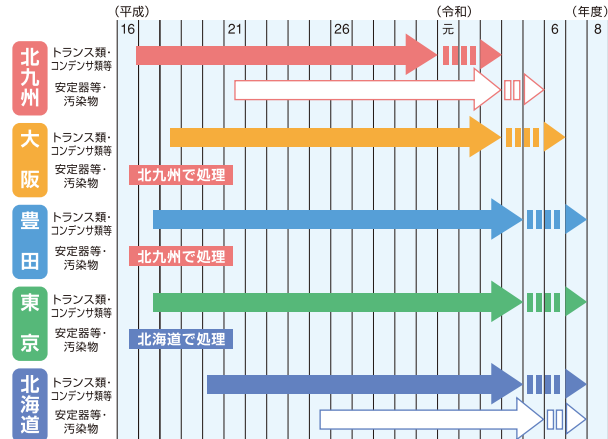
処理対象区域	操業開始	処理能力(t/日) ^(注)	PCB分解処理方式
北九州	平成21年7月	10.4t/日	熔融分解方式
北海道	平成25年9月	12.2t/日	熔融分解方式

(注)処理能力は、安定器等・汚染物量。



※ 安定器等・汚染物：PCBを使用した低圧トランス及び低圧コンデンサのうち小型のもの、安定器その他これらと同程度の小型の電気機器が廃棄物となったもの、感圧複写紙、ウエス、汚泥等のPCB汚染物

処理の開始・完了予定時期



※ 計画的処理完了期限(実線)：保管事業者がJESCOに対し処理委託を行う期限
事業終了準備期間(点線)：今後新たに生じる廃棄物の処理や処理が容易ではない機器の存在、事業終了のための準備を行うための期間を勘案したもの

豊田PCB廃棄物処理の概要

所在地 愛知県豊田市細谷町三丁目1番地1

敷地面積 9,773.73m²

施設概要 ◆処理対象物

処理対象	処理対象区域	処理対象区域以外に保管されている処理対象物
トランス類・コンデンサ类等	C地域	B地域のポリプロピレン等を使用したコンデンサの一部

(注) 処理対象区域については、以下のとおり。

B地域：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

C地域：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

◆処理能力

1.6t／日 (PCB分解量)

◆処理方式

①PCB分解 脱塩素化分解法

②容器・内部部材からのPCB除去：溶剤洗浄法+真空加熱分離法

高圧トランスなどの中にあるPCBを、トランスなどの容器の内部や内部部材に付着したり浸み込んでいるものも含めて化学的に分解します。

建物概要

◆鉄骨造地上7階

◆建築面積……………4,785.66m²◆延床面積……………20,710.77m²

◆高さ……………30.95m

◆管理ゾーン……3階に事務管理室やプレゼンテーションルーム、情報公開ルームを備え、3・5・7階に見学者通路を整備し、積極的な情報公開を行っています。

1F 駐車場

2F 受付

3F プレゼンテーションルーム、情報公開ルーム、事務管理室、見学者通路

4F 応接会議室、運転事務室

5F 見学者通路

7F 見学者通路

◆処理ゾーン……5階の中央制御室から、各設備や装置の状態を24時間監視・制御しています。

PCBの処理は脱塩素化分解方式によって行い、PCB脱塩素化分解設備並びにその前処理としてトランス等からPCBを除去する溶剤洗浄設備及び真空加熱分離設備を備えています。

1F トランス・コンデンサ解体エリア

2F 受入エリア

4F 洗浄・真空加熱分離エリア、払出・保管エリア

5F 中央制御室

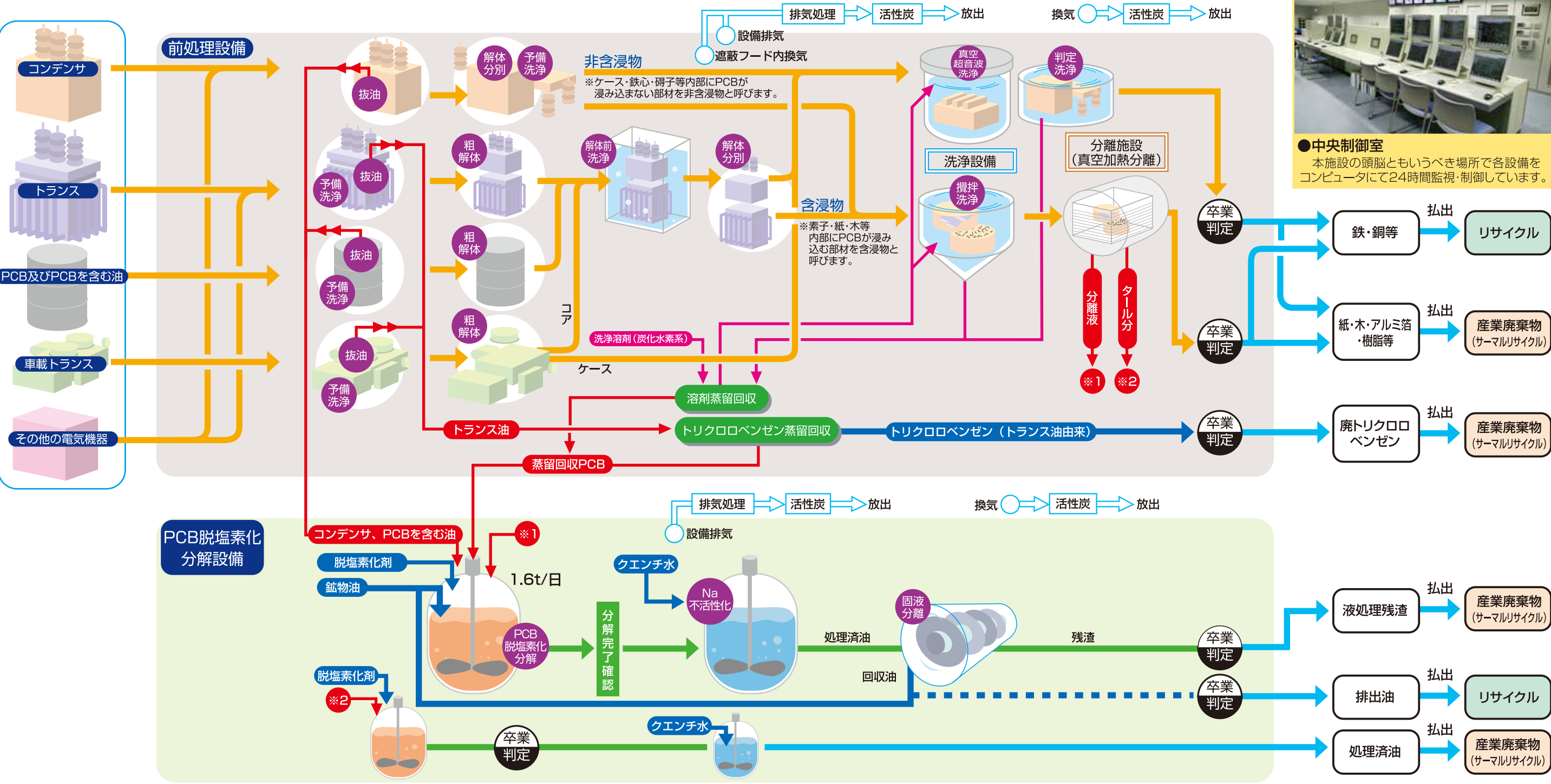
6F PCB液処理エリア、分析エリア

7F 用役エリア

◆付帯施設

特高受変電所、非常用発電機棟、ボイラー室、受水・排水設備、非常用発電設備・消火設備

処理工程図



●中央制御室
本施設の頭脳ともいべき場所で各設備をコンピュータにて24時間監視・制御しています。



●受入・保管設備
搬入されたPCB廃棄物を受け入れ、大きさや種類別に分類し、一時保管します。



●抜油・解体設備
処理対象物のほこりを取り除き、PCBを抜き取り、洗浄しやすい大きさに解体します。



●含浸物洗浄設備(攪拌洗浄)
含浸性部材を溶剤で攪拌洗浄し、PCBを洗い落とします。



●含浸物洗浄設備(真空加熱分離)
窒素雰囲気下で加熱した含浸性部材を真空引きして残ったPCBを蒸発させ、取り除きます。



●非含浸物洗浄設備
鉄や銅、端子などのPCBが浸み込んでいない非含浸性部材を真空超音波洗浄装置で洗浄し、PCBを取り除きます。



●PCB受入調整設備
PCBを含んだ油を種類毎に受け入れ、PCB濃度を調整した後、PCB脱塩素化分解設備へ送ります。



●PCB脱塩素化分解設備
PCB廃棄物から分離したすべてのPCBを、脱塩素化剤と反応させ、分解し、無害な物質に変えます。

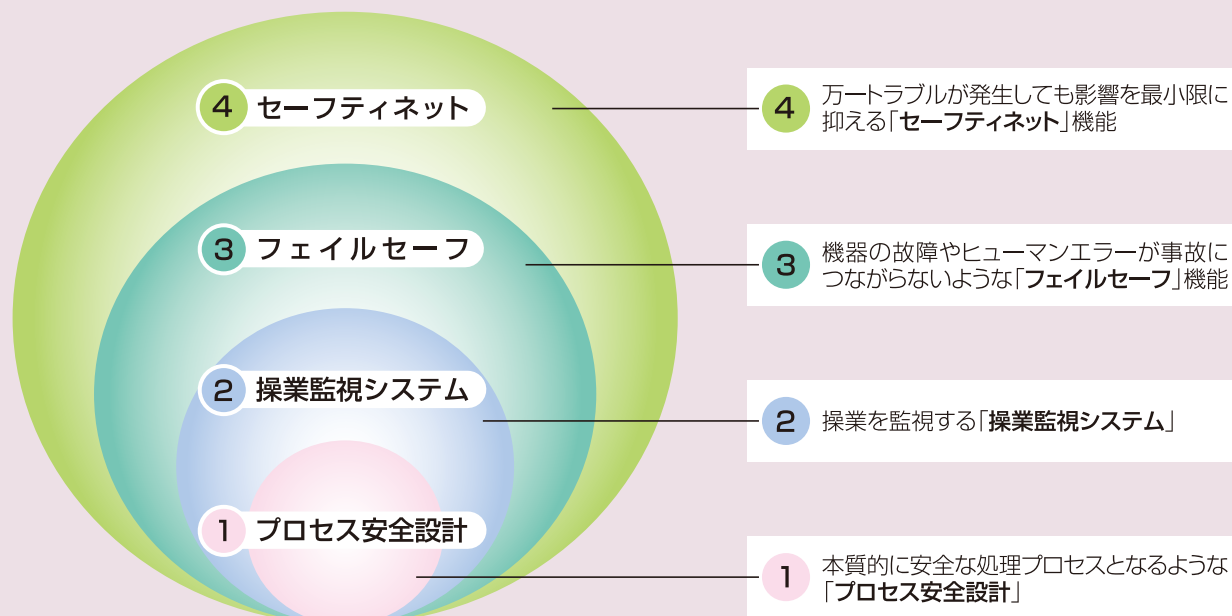


●分析室
施設内で処理された処理対象物に、基準以上のPCBが含まれていないかを調べて卒業判定を行います。

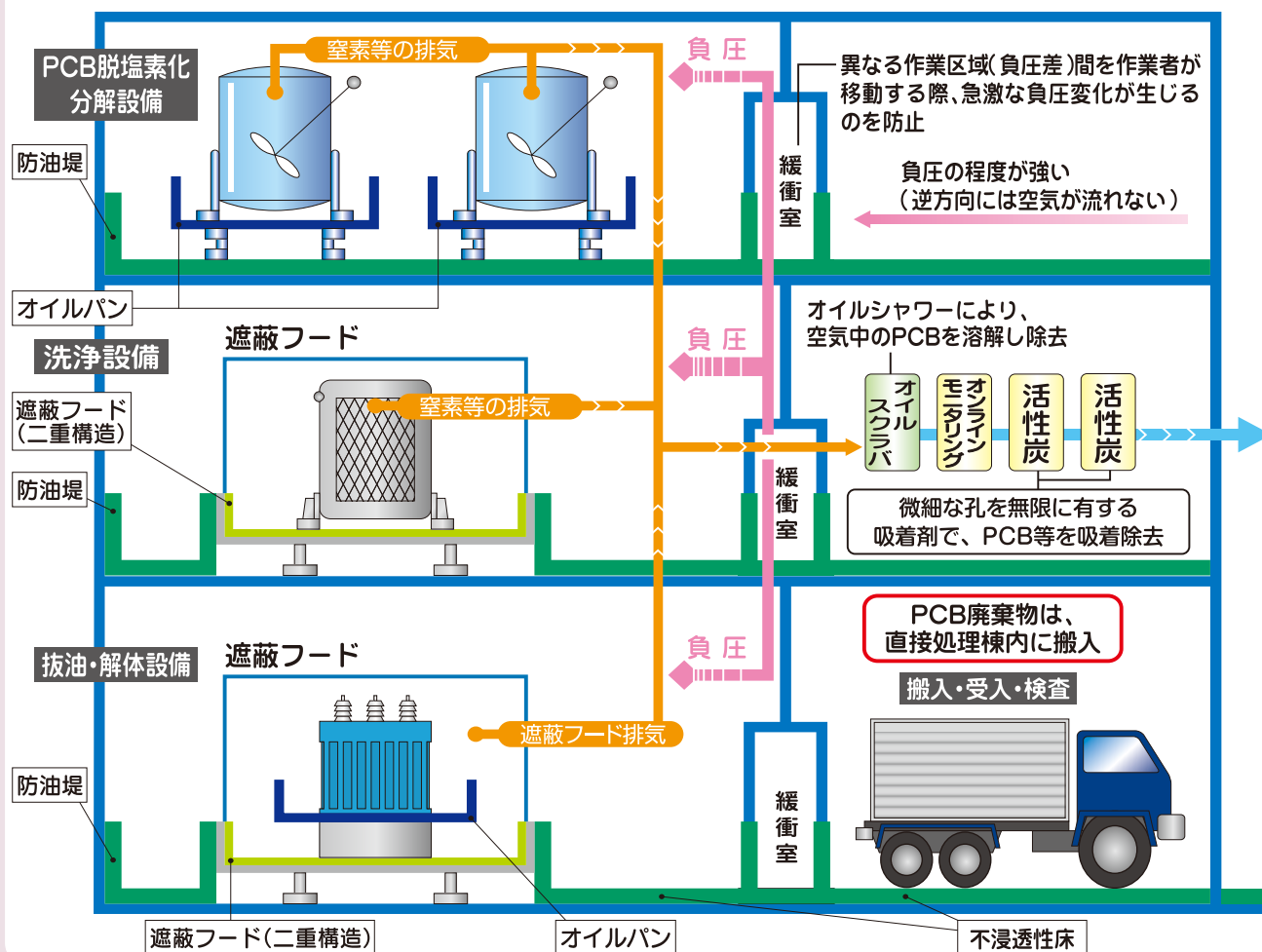
施設における安全対策

安全性確保に対する基本的な考え方

豊田施設の安全設計の基本として2つの潜在ハザード、「施設外へのPCB漏洩」「施設内での火災・爆発」を低下させるために多重防護構造を構築しています。



施設における環境・安全対策



情報公開

施設内でも見学者に積極的に情報公開しております

施設内情報公開設備

■プレゼンテーションルーム



●プレゼンテーション設備

団体の見学者に対応できるよう大型スクリーンを備えています。

■情報公開ルーム



●メディアウォール

CGにより3Dで再現した施設を自由な角度から眺めたり、施設内で行うPCBの処理を紹介します。

■見学者通路



●見学者パネル

見学者通路に設置された映像や音声、グラフィックで施設内の様々な施設を紹介するパネルです。



●情報公開PC

施設で今までに処理したPCB廃棄物や施設の各種モニタリング結果を表示します。

インターネットなどでの情報公開



●ホームページ

施設内での情報公開だけでなく、当社ホームページでも様々な情報を公開しています。



●豊田PCB廃棄物処理事業だより

豊田PCB廃棄物処理事業だよりを毎月10日に発行し、情報を積極的に公開しています。

位置図



交通のご案内

- 豊田市駅から車で約10分
- 名鉄土橋駅から車で約10分
- 東名高速豊田ICから車で約10分



豊田PCB廃棄物処理施設

中間貯蔵・環境安全事業株式会社豊田PCB処理事業所

〒471-0853 愛知県豊田市細谷町三丁目1番地1
TEL 0565-25-3110 FAX 0565-24-0543

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

〒105-0014 東京都港区芝一丁目7番17号 (住友不動産芝ビル3号館)
TEL 03-5765-1911 FAX 03-5765-1938
URL <http://www.jesconet.co.jp>

